平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	5	ー	27

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	高齢者等の冬の生活支援事業					
評価者	担当課名		保健福祉課	担当係名		社会福祉係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	山 崎 佳 之		氏名	渡 部 憲 一
事業の概要	在宅で生活する低所得世帯に対し、厳寒期における暖房用燃料や冬期用品の購入費の一部を助成し、当該世帯の生活安定を図る。			全体計画 /単年度繰返 （平成 21 年度～ 24 年度）		
				事業費	国・道支出金	5,000 千円
					地方債	6,400 千円
					その他	千円
					一般財源	5,900 千円
					事業費計	17,300 千円
実施方法	■ 直営		民間委託		その他（　　）	
第５期総合計画（前期）	■ 登載事業		非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～			
	基本施策	7	高齢者支援の充実			
	単位施策	2	生活支援の充実			
	事務事業の種類	■	自治事務		法定受託事務	
	その他計画・根拠等		雄武町高齢者等の冬の生活支援事業実施要綱			

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	3,500 千円	500 千円	425 千円	500 千円
	地方債	千円	千円	2,900 千円	3,100 千円	3,200 千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	千円	190 千円	48 千円	8 千円	千円
	合計	千円	3,690 千円	3,448 千円	3,533 千円	3,700 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	高齢者等の低所得世帯	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	近年の燃料価格高騰で、低所得世帯における冬期間の生活を圧迫しており、燃料のみならず、冬期用品の確保支援も求められている。	対象世帯への交付数、利用率		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	暖房用燃料、冬用衣料、防寒靴等の購入費の一部を助成し、低所得世帯における冬期間の生活安定を目指す。	① 交付世帯	目標年度	平成23年度
			目標値	330 世帯
			実績値	240 世帯
			達成度	72.7 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	低所得世帯の冬期間の生活安定を図り、健やかに暮らせる地域づくりを目指す。	② 利用率	目標年度	平成23年度
			目標値	100 %
			実績値	98 %
			達成度	98 %

内容（どのような手段で何を行ったか）	
①助成券の交付	町民税非課税の高齢者世帯等に対し、１５千円分の助成券を交付した。
②冬期用品等購入費の助成	町内各小売店からの請求に基づき、助成券使用分を支払った。

3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	冬期間の燃料代が生活費を圧迫している昨今において、低所得世帯に対し、燃料のみならず冬期用品等の購入費用の一部を助成することは、増嵩する生活費を抑制して生活安定に繋がるため、必要性は高い。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	冬期間における当該世帯の増嵩する生活費が抑制され、生活安定の一助に繋がった。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 ■時間短縮・作業軽減 □その他	申請から決定までの期間を２週間以内とし、事務の効率化・迅速化に努めている。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	助成に当たっては、一定の基準を設けていることから、公平性は保たれている。

4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
冬期間における低所得世帯の生活安定の一助に繋がり、燃料だけでなく、品目を増やしたことで、利用者の選択肢も広がり、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
低所得世帯の冬期間の生活の安定を図るためには、引き続き事業を実施していく必要がある。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）